

日本グランプリシリーズ 熊本大会

第30回金栗記念選抜 陸上中長距離大会2022

4月9日(土)

熊本県・えがお健康スタジアム(熊本県民総合運動公園陸上競技場)



4/9(土)、熊本県熊本市の えがお健康スタジアムにおいて金栗記念陸上大会が開催され、5000mには佐々木瑠衣選手・石澤ゆかり選手、10000mには小井戸涼選手とペースメーカーとしてバイレ シンシア選手が出場しました。

4月から始まった22年度のトラックシーズン第1戦となるグランプリ大会。当日は気温が25度近くあり、暑さを感じる中でのレースでした。5000mではスローペースで始まったレースを、石澤ゆかり選手が先頭に立って一気にペースアップしましたが、暑さの影響もあり中盤から失速してしまいました。後続集団でレースを進めていた佐々木瑠衣選手は、ラストパートで集団から抜け出して、初戦としてはまずまずのタイムで1組目の2位(総合22位)でゴール。石澤ゆかり選手も後半は何とか粘り、1組目の5位(総合31位)でゴールしました。10000mではバイレ シンシア選手がペースメーカーを務め、小井戸涼選手は少し疲労がある中での出場でしたが、集団から離れても自分のペースを守って走り切り、4位入賞を果たしました。





5000m



16分09秒81 **22**位
佐々木 瑠衣選手の
コメント

トラックレース初戦の今大会は、まずは現状の確認と、今持っている力を出し切って、今年目標に向けて良いスタートが切れるようなレースをすることを意識して臨みました。

まだまだ状態が上がってきていない中で、タイムとしてはまだまだ満足いくものではありませんでしたが、練習してきたことを出せた部分もあり、今後繋がる手ごたえを掴むことができました。今回のレースをスタートに、目標達成に向けて日々の練習や、これからの1戦1戦を大切に進んでいきたいと思えます。

ご声援、ありがとうございました。



16分30秒75 **31**位
石澤 ゆかり選手の
コメント

トラックシーズン初戦は、冬場の走り込みの成果をレースにつなげる目的で臨みましたが、まだまだ冬場の疲労が残っており、身体が重くて思うように前に進まない走りとなってしまいました。それでもスピードを出す感覚は良かったので、次のレースに向けて修正していきながら走りの精度を上げていきます。

今年度も皆さまの応援を力に変えて挑戦していきますので、ご声援をよろしくお願いいたします。



10000m



ペースメーカー
バイレ シンシア
ジェリ選手



33分14秒42 **4位**
小井戸 涼選手の
コメント



今大会で10000mの日本選手権参加標準記録を突破することを目標に、冬季から練習やレースを積み重ねてきましたが、3月の鍛錬期から調子が上がらずに自分の走りが崩れてしまい、悔しい結果に終わってしまいました。日頃から応援してくださっている会社の皆さまはじめ、練習から支えてくれているスタッフやペースメーカーを務めてくれたシンシア選手、切磋琢磨して刺激しあってきた選手に対しては申し訳ない気持ちがありますが、スタートラインに立つまでにたくさんの事を学ぶことができました。今回は失敗してしまいましたが、苦しみもがいた中で経験を積み、自分自身成長できた部分があったと思います。

トラックシーズンは始まったばかりなので、この悔しさをバネにして、感謝の気持ちを忘れずに、前に進んでいきたいと思います。



日立女子陸上競技部事務局

応援
ありがとうございました!!

